理事会報告書

１．概要

	第３回　理事会
日　時	令和５年 6 月 16 日　18:30～20:30
場　所	Web 会議
出席者	理事大山盛樹、井手伸二、山下潤一郎、小泉徹児、小無田彰仁、永木照彦、大石勝規、 浦川純二、志岐浩二、小柳　傑、飯野朋彦、池田章子、森健次郎 監事平野英三、柿田謙三、　大木田治夫 書記大月雅之、狩浦圭介 事務局坂井孝行 その他古田弘二、持永 至人

２．理事会議題と決定事項

（１）審議事項

１）教育学術局学術資料班 VTR 機器リースについて
学術資料班が使用していたビデオカメラ、バッテリー、その他付属品が故障。リース契約等更新も検討するが、既存の備品があるため必要性を再度検討する。本議案の審議は行われなかった。

２）協会指定管理者研修（初級）会長推薦について
協会指定管理者研修（初級）会長推薦の申請が 1 名。長与病院の大月先生。その後の手続きは大石理事が行っていたが、今後は事務局に引き継ぐ形とする。審議の結果、提案通り可決された。

３）新入会承認について
在会会員 1,984 名、休会会員 282 名。入会 22 名、退会４名、復会１名。審議の結果、提案通り可決された。

（２）報告事項

１）令和５年度 長崎県理学療法士協会　定時総会について
令和 5 年度定時総会について、開催日は 6 月 4 日、ホテルニュー長崎丹頂の間にて。当日出席は会場が 41 名、リモートが 31 名。委任状出席が 1,334 名。計 1,398 名。予算 764,250 円のところ支出は 761,288 円で残金が 2,962 円。反省点として、総会資料の発送があった。また会場マイクを 2 本で対応したが、3 本あった方がスムーズだった。駐車場代で事前確認不足あり。成功点として、事前準備やホテルスタッフのサポートにより、準備から片づけまでスムーズにできた。議長席を捉えたカメラアングルの検討、イベントカレンダーへの掲載が課題。

２）令和５年度 長崎県理学療法士協会　新卒者オリエンテーションついて
5 月 17、18 日にリモートで開催。初日 53 名、2 日目 55 名の参加。予算 7 万円で 67000 円。田中まさし先生にもご協力いただき、協会組織への理解や学習意欲が高まったというポジティブな意見が多かった。未だキャリアメールで申し込む方が多く、連絡に苦慮することあり。

３）令和５年度学術研修会企画について
令和５年度学術研修会について、全４回で１回目講師の阿南先生、2 回目の久保先生は会場でご登壇。3、4 回目は Web 講演のためフルリモートの予定。第１回目はハイブリッド、第２回は「摂食嚥下に対する PT の評価とアプローチ」とのことで、実技が入るため対面のみ。会場はキャパの 60%で 50 名程度を予定。講師が新幹線で来崎とのことで、諫早あたりでの開催を検討。コロナの感染状況によっては Web への切り替えもあり得る。感染対策についても検討。

４）第 20 回ねんりんピック大会について
5 月 13 日に第 20 回ねんりんピックが開催。サッカー、公式テニス、軟式テニスの３競技。スタッフは 8 名。テニスは開会式で挨拶の時間をいただき、うまく周知が出来た。アナウンスとして冊子への掲載を相談する。サッカーで急な雨が降り、ブルーシートを借りて対応。次回以降雨天のことも考慮。骨折疑いの方もいたということで、今後看護師と協力の上対応していく。

５）第 23 回長崎県障がい者スポーツ大会 メディカルサポートについて
5 月 28 日障がい者スポーツ大会が開催され、陸上競技と水泳のサポートを実施。スタッフは池田理事含め 8 名。陸上競技の方はブースが目につきにくい場所で、現地でアナウンスする必要あり。水泳は目につきやすい場所で定期的に依頼があった。参加者が減り、身体障害より知的障害の方が増えている印象。全体的に周知できてきている印象で、テーピングだけでなく相談等が好評。運搬や暑さ対策が課題。立て看板は老朽化のため更新予定。

６）小学生ソフトボール大会進捗状況について
コロナ禍でできなかったが、今回は第 18 回長崎県理学療法士杯小学生ソフトボール大会を 10 月 22 日、佐世保市立春日小学校グラウンドにて開催予定。雨天は体育館予定。介護予防推進リーダーの士会指定事業。最大 16 チームの募集をかけて、7 月上旬には公文書を佐世保市のチームに発送予定。

７）第２回西彼・西海地区中学校女子バスケットボール障害予防ミーティング進捗状況について
7 月 30 日日曜日の 8 時から 17 時までの開催予定。例年の主だったスタッフは参加可能とのこと。内容は試合とコンディショニングの講習会で場所は未定。

８）成長期のスポーツ障害予防講習会・講師養成講習会参会者推薦（追加）について
先月の理事会で佐治先生の推薦を承認。2 人目の候補者について、三河内病院の山口先生を三役に承認を得て先方に推薦した。

９）令和 5 年度 第 1 回長崎地区研修会について
7 月 22 日に長崎北病院の本多先生に講演いただき、登録理学療法士のポイント研修としてオンラインで開催予定。

１０）令和 5 年度 第 1 回大村・東彼地区研修会について
5 月 20 日に第 1 回大村・東彼地区研修会を開催。大村市中央公民館シーハットにて、野球に多い傷害・外傷の基礎知識と対応方法ということで、テーピングなどの実技が中心。講師は愛野記念病院の相良先生と山口てつ整形外科クリニックの佐治先生。参加者は 21 名。予算 5 万円に対し決算 49,970 円。実技中心の 90 分は少し短かった。講師手当について、本来 90 分の研修で 1 人 1 0,000 円のところ、今回は 2 人にそれぞれ 10,000 円支払っている。財務担当理事と確認する。

１１）県学術大会進捗状況報告について
演題は 40 に達し、現在査読中。開会式出席の公文書を発送中で大石県知事、宮島佐世保市長は発送済み。医師会長、看護協会会長、OT 県士会長、ST 県士会長には今後発送予定。開会式は 20 分程度を予定。ネットはアルカスの既存の環境を使用予定。田中まさし先生の挨拶は1日目を考えており、オンライン配信は現在調整中。田中先生には情報交換会でも挨拶いただく予定。

（3）その他報告事項

1）令和 5 年度　リモート会議費精算手順の変更について
Zoom のアップデートに伴い、リモート会議費清算手順の変更あり。広報に流して共有したい。今のところトラブル等報告なし。

2）県学会の方針について
次期学会についてコロナ、九州学会でイレギュラーな状況が続いたため方向性を確認。次年度は島原地区で、コロナ以前の順に担当持ち回りとし、広範囲で参加を促す。学会長は今まで通り地区内からを基準とし、困難な場合は組織運営検討委員会や学会評議員にて県内から推薦する形。形式は徐々に対面へ移行。託児所の設置も検討。演題募集の活性化について、時間の検討やディスカッションなど魅力的な学会演題形式なども企画の中で検討。

3）佐賀県士会との交流会について
以前から打診があったが、佐賀県士会との交流会を 7 月 29 日に予定。事務局より各理事に参加可否を確認する。

4）タイとの国際交流について
6 月 24 日にタイの理学療法士協会の理事、マヒドン大学の准教授と大学院の生徒さんが 6 名長崎に来られる予定。国際協力、学術交流として。前段として 24 日に情報交換会を長崎で行う。

5）医療監査について
医療監査で、特に心リハは医師の出勤とセラピストの出勤を整合するようにしているよう。今後注意が必要か。